慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	研究大会ラウンドテーブル : 図書館情報学研究と科学研究費補助金
Sub Title	
Author	石田, 栄美(Ishita, Emi) 上保, 秀夫(Jōho, Hideo) 根本, 彰(Nemoto, Akira) 倉田, 敬子(Kurata, Keiko)
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2017
Jtitle	Library and information science No.78 (2017.) ,p.144- 144
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000078-0144

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究大会ラウンドテーブル
図書館情報学研究と科学研究費補助金

話題提供者：石田　栄美（九州大学大学院統合領域学府ライブラリーサイエンス専攻）
上保　秀夫（筑波大学図書館情報メディア系）
指定質問者：根本　　彰（慶應義塾大学文学部）
モデレーター：倉田　敬子（慶應義塾大学文学部）

研究大会における新たな試みとして，参加者のより自由な発言を促すことを意図したラウンドテーブルを開催した。テーマには，今後大きく変更が予定されている科学研究費補助金（科研費）を取り上げ，図書館情報学研究にとっての科研費とその変革への対応などについて意見交換を行った。科研費の問題を通して，図書館情報学という研究領域のあり方を考える機会とすることが併せて意図されていた。

モデレーターから，開催の趣旨説明，科研費改革による変更点の説明，および図書館情報学領域にとっての科研費にかかわる課題について問題提起がなされた。その後，2名の話題提供者からそれぞれの経験を踏まえて，大型科研費（基盤AとBなど）獲得の意義とそれに伴って発生する負担等の不利益，申請に向けた準備（共同研究体制の構築，社会への貢献という面からの研究意義の説明，申請区分に応じたスケールをもつ研究目的・研究体制の準備など），さらには図書館情報学分野での大型科研費の採択状況などについて話題提供がなされた。また，指定質問者からは，提起された課題や状況などに対して，自身の科研費獲得および審査委員の経験を踏まえつつ意見が出された。

これらの後，フロアの参加者を交えて，申請における社会的ニーズとの関係づけ，研究の蓄積を示すことの重要性，図書館員（実務家）との連携，図書館というフィールドをもつ図書館情報学の強みなどについて意見交換が行われ，盛会のうちに終了した。